

早川 渡 (Wataru HAYAKAWA)

学位：修士（経営学）

略歴：名古屋商科大学大学院経営情報学研究科修士課程修了

中部大学大学院経営情報学研究科博士課程満期退学

専門分野：ソフトウェア、情報学基礎

研究課題：1. ソフトウェア開発手法

2. ソフトウェア開発関連資格

【著書】

- ・『大学から始めるプログラミング 基礎編』（崑崙書房、1996年）
- ・『大学から始めるプログラミング 応用編』（崑崙書房、1996年）

【論文】

- ・「プログラマーのリスクリングに関する一考察」（『愛知文教大学論叢』第26巻、2024年2月）
- ・「プログラミング教育における統合開発環境の選択についての一考察」（『愛知文教大学論叢』第25巻、2023年2月）
- ・「ローコード／ノーコードによるアプリケーション開発手法の活用」（『愛知文教大学論叢』第24巻、2022年2月）
- ・「GIGA スクール構想対応デバイスと開発環境」（『愛知文教大学論叢』第23巻、2021年2月）
- ・「プログラミングとドローンについて」（『愛知文教大学論叢』第22巻、2019年11月）
- ・「アプリ開発とスマートスピーカーについて」（『愛知文教大学論叢』第21巻、2018年11月）
- ・「プログラミングとおもちゃ」（『愛知文教大学論叢』第20巻、2017年11月）
- ・「プログラミングと次期学習指導要領」（『愛知文教大学論叢』第19巻、2016年11月）
- ・「システム開発とモバイルラーニングについて」（『愛知文教大学論叢』第18巻、2015年11月）
- ・「ソフトウェア開発とゲーム開発環境」（『愛知文教大学論叢』第18巻、2015年11月）
- ・「ソフトウェア開発とプログラミングコンテストについて」（『愛知文教大学論叢』第16巻、2013年11月）
- ・「建設記録映画データベース構築による高度経済成長期の土木建設技術史研究」（2010年度～2012年度科学研究費補助金基盤研究（B）（課題番号22300302）研究成果報告書〔共著〕、2013年3月）
- ・「ソフトウェア開発とHTML5について」（『愛知文教大学論叢』第15巻、2012年11月）
- ・「ソフトウェア開発とロボット制御プログラミングについて」（『愛知文教大学論叢』第14巻、2011年11月）
- ・「ソフトウェア開発とクラウドコンピューティングについて」（『愛知文教大学論叢』第13巻、2010年11月）

【その他】

- ・小牧市立図書館協議会委員（2022年7月～）
- ・高大連携出張授業「プログラミング的思考」（於：高松学園伊那西高等学校、2019年10月）
- ・愛知文教大学公開講座「プログラミングの基礎ABC」（於：愛知文教大学、2016年6月）
- ・高大連携出張授業「コンピューターを動かすということ①② — プログラミングと論理的思考 —」（於：高松学園伊那西高等学校、2015年12月）
- ・高大連携出張授業「動け！コンピューター①② — プログラミングと論理的思考 —」（於：高松学園伊那西高等学校、2014年10月、11月）
- ・平成27年度商業教育研究会（情報処理部会）教員研修講師（於：愛知文教大学、2015年7月）
- ・「コンピューター言語で仕事をちょっと早く終わらせよう」（於：愛知文教大学、小牧市民講座、2014年7月）
- ・“Dam Project Documentary Films as Industrial Heritage”(Co-author) (TICCIH [The International Congress of the Conservation of the Industrial Heritages] 2012 Selected Papers, 2013.1.)
- ・「建設記録映画分析データベース構築による高度経済成長期の土木建設技術史研究」2010年～2012年度科学研究費補助金基盤研究（B）（課題番号22300302）（研究代表者：今尚之）研究分担者
- ・“Dam Documentary Films as Industrial Heritage”（TICCIH [The International Congress of the Conservation of the Industrial Heritages] 2012 in Taipei, Session I, A3-11, Taiwan, 2012.11.）
- ・「建設技術記録映像利活用に向けた映像情報データベースのモデル構築」（土木学会第66回年次学術講演会、CS11-002、2011年9月）
- ・『まさか自分が！』とならないために～インターネットに潜む危険～（小牧市民大学こまきみらい塾、2011年9月12日～10月31日（5回）、於：小牧市まなび創造館）
- ・愛知文教大学公開講座「ネット検索 Google と Yahoo!の争い」（於：愛知文教大学、2010年10月）

【研究資金獲得状況】

- ・2010年～2012年度科学研究費補助金基盤研究B「建設記録映画分析データベース構築による高度経済成長期の土木建設技術史研究」（研究代表者：今尚之）研究分担者

令和6(2024)年度ティーチングポートフォリオ

氏名	早川 渡	職位/役職	教授/附属図書館長
----	------	-------	-----------

1. 教育の理念

建学の精神である「質実有為で宗教的情操を身につけた真人の育成」を現代社会に適応させるべく、「急激に変化する現代社会を生き抜く人材の育成」と読み替え、一生を自立的に生き抜く強い心とそれを助ける社会力を備えた人材を育成したいと考えている。

本学の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）にある「社会人としての基礎的な能力を修得できる」ことが担当科目（教養教育科目群：共通基盤分野、キャリア形成分野、特別演習）にあてはまり、基礎を重視し、自ら成長する学生を育てられるように努めている。

大学教員としては社会で扱われる実践的な内容を中心とし、困っていそうなときは様子を見守りながら、必要に応じて寄り添いながら自ら解決できるようにしていくことを考えている。

2. 教育活動の内容

【2023 年度担当科目】

コンピュータリテラシー

コンピュータプレゼンテーション

情報基礎 A

アカデミアゼミ A

アカデミアゼミ C

ことばと人文学（オムニバス）

インターンシップ A

情報基礎 B

ビジネス数学入門

データサイエンス入門

ことばと情報社会

アカデミアゼミ B

アカデミアゼミ D（卒業研究）

インターンシップ B

【2024 年度担当科目】

コンピュータリテラシー

コンピュータプレゼンテーション

情報基礎 A

アカデミアゼミ A

アカデミアゼミ C

ことばと人文学（オムニバス）

インターンシップ A

情報基礎 B

ビジネス数学入門

データサイエンス入門

ことばと情報社会

アカデミアゼミ B

アカデミアゼミ D (卒業研究)

インターンシップ B

3. 教育の方法

作業を行う場合、まず基礎問題について教科書等を見ながら実際に行い、間違いがないか見直しを行う。その後の実習問題では今までに学んだことを考えて作業を行い、間違いがないか見直しを行う。まとめとなる発展問題は、これまでの知識を活用し全体を通して完成させることだけではなく、よりよい方法を見つけ出せるように助言をしていく。これによって基礎から発展、さらに上を目指せるように進めている。

4. 教育活動の成果・評価と改善方策

作業を行う場合、机間巡視を行いながら様子をみている。その中で授業のはじめの数回に比べて中間、終盤になると明らかに成長がうかがえる学生が増えていると感じられる。授業調査アンケートでは、平均的な回答が多いのではあるが、まとめの発展問題での感想を見ると上達しているという意見も多くみられるようになった。ただし、第三者として本学の卒業生に関して企業からの意見の中には、コンピュータをなかなか使えていないという回答を見ることがある。

改善方策としては、継続して作業を行っていくことが大事であると思われる。1年生で行う授業が多いため、今後はより定着できることを目指して作業する問題を精査することや学内や自宅での学習を増加させることを考えている。

5. 今後の目標

コンピュータに関して困らないように自立して問題を解決していくことについては継続していくことに重点を置きたい。そのためには、中間試験での完成度の高さを目指せるように、また机間巡視における教授方法を工夫し、発展問題ではより完成度があげられるように助言を考えていきたい。